

令和7年度 松本市立梓川中学校グランドデザイン

【松本市教育大綱 基本理念】

子どもが主人公 学都松本のシンカ

【梓川地区まちづくりのビジョン】

あすの梓川をにう「ひと（あずさっ子）づくり」

多様性

一人ひとりの個性や能力を尊重

創造性

未来を切り拓き、新しい価値を生み出す

主体性

自己や他者と対話し
ながら、社会に参画

学校教育目標（「自分の良さ」を計る視点）

強く：自分の強みを知り、弱さを見つめ、自ら乗り越えようとする

優しく：人の特長や痛み・悲しみを理解し、感謝の心を持ち接する

思慮深く：必要な情報から判断し、自ら目標や目的を設定し追究する



「ねがい」を叶える

学校経営理念

地域とともに歩む

【最上位の理念（目的）：全ての子どもたちの学習権の保証】

めざす学校像

「信頼」があふれる学校

めざす生徒像

自分の良さを語れる生徒

校章の由来

- ・校歌の精神
「雄大な自然と共にある我ら」
- ・『梓の葉』
「梓弓」：弾力、粘り強さ、正確さ

生徒を信頼し、生徒に任せ、生徒の自尊感情高揚を促進する支援

～ 生徒会による学校改革の推進（SDGs・校則改正等）～

令和7年度研究テーマ「主体的な学びを引き出す授業づくり」

【令和7年度 2本柱と重点目標】

① 学力向上

～学力：未知の困難に立ち向かう自ら学び続ける力～

☆1 学びの「あずさっ子サイクル」の積み上げ
（地域連携における探究・協働的学びを教科に生かす）

【本校独自のAARサイクル（失敗を恐れない）による、
自学自習の資質能力の伸長】

あ：「あれ！？なぜ？」（課題や疑問をもつ）

ず：「ず～っと先まで見通す」（Anticipation 見通し）

さっ：「さっそく考え、共に学び合う」（Action 行動）

子（こ）：「これでいいのか、振り返る」

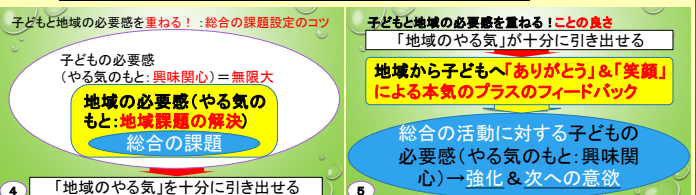
（Reflection 振り返り）

- ・子どもの課題や疑問からはじまり（「あ」）、解決までの見通しを自らもつこと（「ず」）で味わう主体的な学び
- ・友とのかかわりによる対話的・協働的な学び（「さっ」）
くめざせ「子どものアウトプットがあふれる授業」！
- ・授業での学びを家庭で振り返ることによる授業と家庭学習の一体化（「子（こ）」）
- ・多様な生徒を支援する学習の研究（「自由進度学習」、「個別最適な学びと協働的な学びの一体化」など）

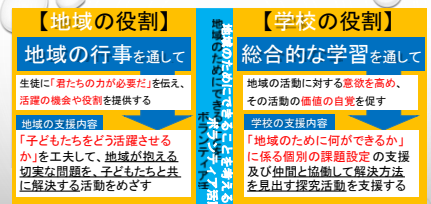
② 地域連携（発想の転換）

～ 連携のポイント：子どもと地域の必要感を重ねる ～

☆2 地域づくりセンター及び公民館等との連携推進
（1）地域連携の理念（「子どもと地域の必要感を重ねる」
及び「無理をしない」）及び役割分担の共有



（2）部活動の地域
（「梓川スポーツ
教室」を母体とす
る教職員が職務
として関わらな
い組織）への移行



☆3 「変化に対応し自らを変革する」力の育成

- ・情報（ICT等）活用能力を支える基礎力の育成（情報収集機器の基本的操作能力、情報収集能力、コミュニケーション能力、情報モラル、セキュリティ、タイピング、プログラミング的思考、情報の比較・分析等）：毎週水曜朝学活前10分間を活用

めざす教師像

- 生徒への尊敬の念を常に忘れない教職員
- 子どもたちの夢を育み応援する教職員
- 生徒・保護者・地域から信頼される教職員（信用失墜行為の根絶・人権感覚の向上）

地域のねがい

- 自立した学習者の育成
- 故郷梓川を愛する生徒
- 地域交流の更なる充実

生徒のねがい

- 考えて関わる授業
- 将来役立つ思考・判断・表現
- 互いに尊重し合える仲間

保護者のねがい

- 相談しやすい雰囲気を
- 落ち着いた学校生活を
- 更に学校の情報発信を